

ダッチインサート FD

使用方法 / 拡張方式
 適合樹脂 / 熱硬化性・熱可塑性
 材質 / 黄銅
 ねじ管理規格 / JIS2 級 ※スリ割部除く

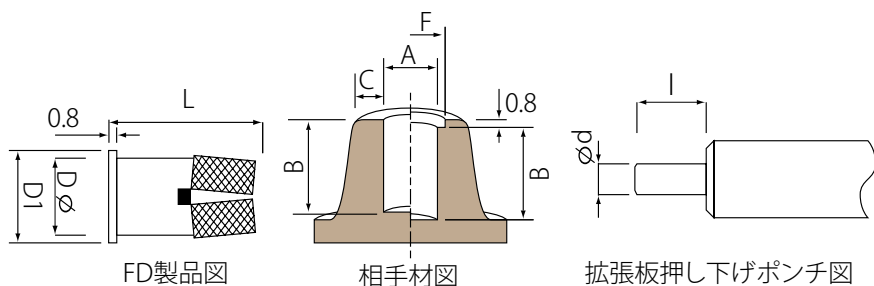
「フランジ付き」でトラブル防止

拡張板を規定位置まで押し下げることで、ローレット部が拡張力を発揮します。

相手締結部品の穴径が大きい場合、フランジが付くことで、ジャッキアップ等のトラブルを防ぎます。



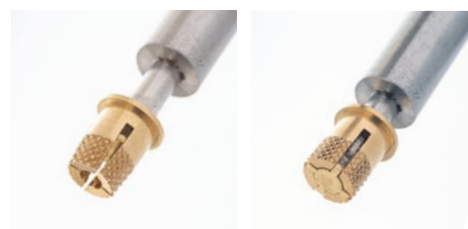
寸法表



F → D1 寸法と同じ



ポンチで板を押し下げ、ネジを挿入します。



挿入前

挿入後ローレット部が拡張しています

ネジの呼びピッチ	D1	Dø	L	ネジの有効長	相手材寸法 (参考)			拡張板下げ寸法		品番
					A	B	C	dø	$l^{+0.2}_0$	
M2.5 × 0.45 ※	5.5	4.0	6.0	4.5	4.05	5.30	2.0	1.9	5.0	FD-2501
M3 × 0.5	6.5	5.0	6.0	4.5	5.05	5.30	2.2	2.2	5.0	FD-3001
			7.5	6.0						
M4 × 0.7	8.0	5.5	7.5	5.7	5.55	6.80	2.7	2.9	6.3	FD-4001
			9.0	7.2						
M5 × 0.8	8.0	6.5	9.0	7.1	6.55	8.30	3.2	3.8	7.8	FD-5001
M6 × 1.0	10.0	8.0	11.0	8.8	8.05	10.30	4.0	4.5	9.6	FD-6001
M8 × 1.25	14.0	11.0	16.0	12.0	11.05	15.30	5.5	6.2	14.6	FD-8001

※ M2.6 × 0.45 も製作も可能です。

品番の表記について

FD-3001-**CD** → C3604 (低カドミウム材)
 FD-3001-**EC** → C6801 (鉛レス材)